



「アクションプラン」を提出しました！

日本ジオパーク委員会から条件付再認定（イエローカード）を受けている佐渡ジオパークは、アクションプランを策定し、5月15日に提出しました。

アクションプランは、日本ジオパーク委員会から改善すべき点として指摘されている事項に対して、改善に向けた具体的な行動や優先順位などを定めた「計画表」です。

指摘された9の項目に対して、2020年にどのような状態になっているのが理想なのか方向性を定め、そのために行うべき20の行動をアクションプランに示しています。

アクションプランを達成するためにはまずジオパークとはどんなものかを皆さまに知っていただくことが大切だと考えています。

そのため、夏に「ジオパーク親子体験」、秋には気軽に1日単位でジオパークの世界をのぞける「市民講座入門コース」を企画しています。

佐渡のジオパーク活動を知ってもらうことで、アクションプランを達成するための第一歩が始まります。

策定したアクションプランの一部

日本ジオパーク委員会からの指摘事項	方向性 (2年後のあるべき姿)	指摘に対応するための具体的な行動
3つのプログラム（ジオパーク、世界文化遺産、世界農業遺産）の類似点と相違点の理解	3つのプログラムの目的の位置付け、役割分担を明確にし、それぞれが現在掲げているビジョンを深化させ、さらに活用しやすくするための各プログラムの連携が図られている	3つのプログラムの関係者（ガイドや地域住民）に対しても啓発を行い、共通認識の醸成を進める

④ 教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

（畑野行政サービスセンター内）
☎ 66-4160

トキ野生復帰にむけて 164

中国トキ国際フォーラムに参加！

5月22日(火)から24日(木)まで、中国洋県でトキ国際フォーラムが開催されました。

中国、日本、韓国、ロシアから延べ約1,500人以上が参加し、日本からは環境省や佐渡市のほか、新潟県、香川県などの自治体、民間団体の関係者が参加しました。

各地のトキ野生復帰の取り組みや地域の紹介が行われ、トキと共生する社会作りについて取り組んでいる佐渡の事例を三浦市長が紹介しました。



三浦市長による事例紹介



また、友好交流を行っている洋県政府の関係者と産業や教育に関する交流と協力について意見交換を行ったほか、日中韓3カ国のトキを保護している自治体との交流会にも参加しました。



洋県・佐渡市による対話会

このほか、展示ブースでは3カ国の子どもたちによるトキの絵の展覧が行われ、佐渡の小学生、保育園児の作品も展示されました。



日中韓子どもトキ絵画展

④ 産業観光部農業政策課

トキ保護係（トキ交流会館内）

☎ 24-6040